

三陸北縦貫道路の一部

普代バイパス本格着工



「普代バイパス」上空から見た路線計画(赤線)

九月二十二日、地域高規格道路「三陸北縦貫道路」(宮古久慈間約九十)で初の本格着工となる普代村の国道45号「普代バイパス」起工式が村宇留部の現地で、国、県、地元的地権者らを含む工事関係者約百人が出席し、行われました。「普代バイパス」工事計画については「広報ふだい」平成十二年六月号でも詳しく紹介していますが、簡単に触れてみたいと思います。

普代村を通る国道45号は、村の唯一の主要幹線道路です。しかし、直角カーブを含むヘアピンカーブの連続する急こう配や道路の幅が狭く、歩道設置もできない区間もあります。冬期間には市街地での除雪や急こう配区間での歩行阻害など、さまざまな問題が指摘されてきました。こうした状況の解消に、「普代バイパス」が計画されました。すでに「第二トンネル(トンネル延長三百三十一)」は平成十四年三月末を完成予定に掘削を開始(平成十三年九月号で紹介)。工事は順調に進められています。

「普代バイパス」は、三陸北縦貫道路(宮古市、久慈市間)の一部で宮古久慈間を一時間で結びつという、「三陸北縦貫道路」の一部となる、普代バイパスについてお知らせします。

普代バイパスは、同村柏木平から天拝坂に至る。村中心部を通る国道45号は道幅が狭く、急こう配や急カーブがあることから、同バイパスで村中心部を東側につ回します。

自動車専用道路で歩道はなく、幅は四車線二十二(当面は二車線十二)設計速度は八十 高架橋、トンネル各二カ所整備。本年度は宇留部地区から力持地区にかけての普代第一トンネル(幅十・五、延長百十八)同第二トンネル(同三百三十一)を整備します。

バイパス南側の一・七は北側完成後に工事に入ります。普代バイパスは、一般バイパスと

起工式が行われる!

普代バイパスは、延長四のうち当面は北側の二・三を先行整備し、二〇〇七年度の完成を目指します。交通網の遅れが目立つ県北沿岸の振興や地域連携、交流の促進に期待が寄せられています。

三塚康夫東北地方整備局道路部長は起工式の中で、「一層の事業推進に全力を尽くす」と式辞。村を代表して深渡宏村長は、

普代バイパス詳細を

普代バイパスは、同村柏木平から天拝坂に至る。村中心部を通る国道45号は道幅が狭く、急こう配や急カーブがあることから、同バイパスで村中心部を東側につ回します。

自動車専用道路で歩道はなく、幅は四車線二十二(当面は二車線十二)設計速度は八十 高架橋、トンネル各二カ所整備。本年度は宇留部地区から力持地区にかけての普代第一トンネル(幅十・五、延長百十八)同第二トンネル(同三百三十一)を整備します。

バイパス南側の一・七は北側完成後に工事に入ります。普代バイパスは、一般バイパスと

「普代バイパスが完成することによって、村の活性化が図れる」と感謝の意を表しました。その後、工事の安全を祈って竹内重則岩手県県土整備部長、深渡村長らがくわ入れを行い本格着工を出席者全員で喜び合いました。

式終了後、さらなる工事の安全を祈願し鶴鳥神楽保存会(熊谷儀一会長・会員十人)「清被」が奉納されました。



遠距離都市へも楽々通勤